

推薦制度とは

進路希望調査の結果を保護者会で配布しました。推薦入試利用希望者が増えるだろうと予測していましたが、学年の半数以上 74 名が希望しています。調査フォームの入力状況から「総合型」と「推薦型」を理解していないような印象を受けましたので、簡単に説明します。推薦制度には様々あり、その名称も変更されています。少し面倒ですが、「学校推薦型選抜」と「総合型選抜」の2つを理解してください。

以下は国公立大学に関するものです。

国公立大学は、出願 9～10 月、合格発表 11～12 月上旬といった入試日程が一般的です。

学習成績の条件は大学により異なりますが、合格するには 4.6 以上と意識すべきです。

「**学校推薦型選抜（旧：推薦入試）**」：学校長推薦が必要。「学習成績○以上」といった出願条件が課されることがほとんど。合格の場合は必ず入学する専願制。ほとんどの国公立は「指定校制」を設けていない。1 校からの推薦人数が制限されることが多く、校内で選抜が行われる。

2021 年度から、小論文を用いた評価方法のほか、口頭試問、科目テスト、資格・検定、共通テスト等、学力評価を実施することが必須となった。

学校推薦型：宮城教育大学初等教育教員養成課程

評定平均値が4.0 以上 注：1校につき、各系1名の計4名

志願者が選抜レポートを作成

試験内容：課程別課題 集団面接 個人面接

「**総合型選抜（旧：AO入試）**」：学校推薦型と比べ、エントリーシート等出願時に受験生自身が作成して提出する書類が多い。出願条件は学校推薦型選抜より緩やかな場合が多い。

1 次：書類審査、合格者のみ 2 次：面接・教科試験・小論文へ進む。学校推薦型選抜に比べ、選抜に時間がかかるので受験生側にも労力がかかる。事前準備が多いことが特徴で、早い時期からの対策が必要。共通テストを課す大学が増加傾向にある。

総合型：東北大学工学部 AOII

学習成績概評 A 段階(4.3 以上)

志願者が志願理由書と活動報告書を作成

試験内容：1 次試験 学科試験 300 と書類審査 150 + 2 次試験 面接 150

青陵生が最も多く利用するのが東北大学 AOII。工学部の場合、学科試験は数学・英語・理科（物化）で構成されます。レベルは一般選抜 2 次試験（2 月）と同じです。つまり、AOII 希望者は 2 次試験を 3 ヶ月前倒しで受験するというイメージです。共通テストの準備で慌ただしくなる時期と重なります。同じような選抜方法は、難関大に多く見られます。

学科試験を課す東北大学 AOII のような総合型は、高 2 から準備を始めることを勧めます。土曜学習会や長期休業中課外講習も、AOII 学科試験 = 国立 2 次試験を意識した内容にする予定です。

5月の予定

		主な行事	放課後
1	土		
2	日		
3	月	憲法記念日	
4	火	みどりの日	
5	水	こどもの日	
6	木	①～⑥授業 ⑦カット（教員研修のため）	
7	金		
8	土	土曜学習会	
9	日		
10	月		
11	火	⑦「進路の手引き」読み合わせ	研究論文担当者と打ち合わせ
12	水	①②+金⑤⑥+⑤⑥授業⑦総合	
13	木		
14	金	⑤⑥⑦生徒総会+壮行式	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	⑦総合	
19	水	5年生歯科検診	
20	木		
21	金	体育祭	
22	土		
23	日		
24	月	体育祭予備日	
25	火	⑦総合	各種委員会
26	水		
27	木		
28	金	⑦LHR	英検 1次試験
29	土		
30	日		
31	月		

6月の主な行事 衣替え

5日（土）県総合体育大会のため、8日（火）は振り替え休日

17～22日（金～火） 1学期中間考査